

第4学年 国語科学習指導案

日 時：平成16年6月8日（火） 第3校時

場 所：4年 組教室

児童数： 名

授業者：小谷 かおり

1. 単元名 本の世界を広げよう

教材名 白いぼうし

2. 指導の立場

(1) 単元について

本単元は、以下の学習指導要領の領域の目標と内容を具現する学習内容である。

C 読むこと

目標 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

内容 ア いろいろな読み物に興味を持ち、読むこと。

ウ 場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読むこと。

「白いぼうし」は、作者あまんきみこの「車のいろは空のいろ」シリーズの中の物語の一つである。ファンタジー要素を多分に含み、また、香りや色合いに関する表現も豊かな作品である。豊かな表現を味わったり、登場人物について考えを交流したり、不思議な出来事について話し合ったりと、様々な面から読み深めていくことができる。児童は、想像力を働かせて、このファンタジーの世界をおおいに楽しむことだろう。

ここでは、松井さんの優しい心と、それを包み込む温かく豊かな表現を十分味わいながら作品を読み、シリーズものをはじめ様々の本に出会い、児童の興味がさらに大きな本の世界へと広がっていくような展開にしていきたい。

(2) 児童の実態

読むことについては、自分の考えをある程度持って文章を読むことができるようになってきた。

4月に学習した「三つのお願い」では、音読するにあたり、登場人物の気持ちをどの言葉から想像したのかということを考えさせた。どの子も自分なりに根拠となる言葉を選ぶことはできるようになってきていた。しかし、はっきりと気持ちの書いてある言葉や全体のイメージで言葉を大まかに選んでいるという面も見られた。言葉にこだわって読みを深めるということに関してはまだ弱さが見られるので、力をつけていきたいところである。

「白いぼうし」の初めの感想では、松井さんの優しさ、女の子の不思議さについてかかれているものが多かった。児童の興味や関心を生かして、松井さんの気持ちや人柄を読みとることを中心にして、学習を進めていくようにしたいと思う。

読書については、昨年度、児童が図書館の本を借りた冊数の平均は約48冊であった。その中で一番よく読まれていたのは、9分類の物語で全体の約半分を占めていた。読む子と読まない子の差は大きく、一番多く読んだ子は134冊、少ない子は12冊であった。今年度にはいってからも同じような傾向が見られる。子どもたちに読書が好きかどうかと聞くと、多くの子が好きであると答えた。授業が始まる前や課題をやり終えた残りなど少しの時間を有効に利用して、読書に取り組ませるようにしてきたが、進んで本を読む姿が多く見られるようになってきた。学級で図書館に行く

ときも、楽しんで本をよく読んでいます。しかし、休み時間や放課後に図書館に行って本を借りるといことになると、差がでてくるようだ。本当に本を読みたい、好きだという気持ちがないと自分から進んで読むということにはつながってこない。この単元の学習を通して、本を読む楽しさを知り、さらに意欲的に読書活動ができるようになればと願っている。

(3) 指導について

この単元では、想像する力や読みの力を高め、子どもたちの本の世界を広げていきたいと考えている。

そこでこの教材の指導にあたって、まず、松井さんの心情や人物像を中心にして、読みを進めていくようにする。言葉にこだわって繰り返し読ませ、松井さんの言動や様子、情景を表す言葉に着目させる。そして、その言葉や文から、自分なりに松井さんの心情や人柄を考えさせるよう指導していきたい。また、各場面での中心となるような言葉や文については、教師側からも提示していくなど工夫をし、読みを深めさせたい。自分とは違うよい面を見出し、想像をふくらます取り入れができるよう友だちとの意見交流も位置づけていきたい。

授業の中では、シリーズ作品を紹介したり、本を読む時間を作ったり、友だち同士でおもしろかった本を紹介し合うなど、本と出会う場を計画的に設定し、本を読むという意欲につなげることもしていきたい。

なお、この単元の学習だけではなく、終えてからも子どもたちの読書が広がるような活動を継続して取り入れていこうと思う。

(4) 研究テーマに関わって

研究主題

『生きてはたらく言語能力の育成

～自分の考えを持ち、自分の言葉で伝えあえる子を求めて～』

中学年では「内容の中心をとらえたり段落(場面)相互の関係を考えたりしながら読むことができる」を読むことの願う姿としている。そこで、本単元では、「内容の中心をとらえる」ために、物語の内容を言葉にこだわって読み、自分の考えの根拠となる言葉や文章を見つけることを大切に活動を考えていきたいと思う。

そのためには、本文の言葉にサイドラインを引かせる、中心となる言葉や文を提示するなど言葉に着目させるような学習活動を仕組んでいきたい。これは、研究の具体的内容の「学習過程の工夫」を具現するものである。

言葉にこだわって読むことで、根拠を持って自分の考えを持つことができ、語彙力も高まり、やがては「自分の言葉で伝えあえる子」が育つのではないかと考える。

3. 単元の目標

シリーズの作品を中心に、いろいろな読み物に興味を持ち、進んで読むことができる。

松井さんの人柄や心情、場面の情景などを、叙述をもとに豊かに想像しながら読むことができる。

4. 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ言語に関する知識・理解・技能
・楽しんで物語を読み、進んでいろいろな本を読もうとしている。	・会話や様子などを表す言葉を手がかりに、人物の心情や情景を豊かに想像している。	・「ような・ように」のたとえを用いることでどんな様子を表しているかを考えている。

5. 単元指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評 価 規 準	評価方法
1	物語を読んで感想を持ち、交流することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読を聞いて、感想を書く。 ・ 感想を交流する。 ・ シリーズ作品について知る。 ・ 単元の学習の見通しを持つ。 	範読を聞いて、物語に関心を持ち、自分の感じたことを表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 学習プリント
2	色やにおいを表す言葉に着目して、物語を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色やにおいを表す言葉を見つける。 ・ 音読する。 	物語の中から、色やにおいを表す言葉を見つけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・
3	松井さんとお客さんの会話や様子に着目して、松井さんの夏みかんに対する思いや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一場面を音読する。 ・ 松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。 ・ 読みとったことを交流する。 ・ 場面の様子が表れるように音読する。 	叙述をもとに、松井さんの夏みかんに対する思いや人柄を読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 学習プリント
4	松井さんの言葉や行動に着目して、松井さんの男の子に対する優しい気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二場面を音読する。 ・ 松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。 ・ 読みとったことを交流する。 ・ 場面の様子が表れるように音読する。 	叙述をもとに、松井さんの男の子に対する優しい気持ちや人柄を読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 学習プリント
5	松井さんと女の子の会話や行動に着目して、松井さんの女の子に対する優しい気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三場面を音読する。 ・ 松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。 ・ 読みとったことを交流する。 ・ 場面の様子が表れるように音読する。 	叙述をもとに、松井さんの女の子に対する優しい気持ちや人柄を読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 学習プリント
6	松井さんの言動や様子に着目して、声が聞こえてきたときの松井さんの気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四場面を音読する。 ・ 松井さんの気持ちや人柄が分かるところに線を引き、自分の考えを書き込む。 ・ 読みとったことを交流する。 ・ 場面の様子が表れるように音読する。 	叙述をもとに、声が聞こえてきたときの松井さんの気持ちや人柄を読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 学習プリント

7	「よくな・ように」というたとえの表現用いることで、生み出す効果について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の中からたとえの表現を見つけ、どんな様子を表しているかを考え、交流する。 ・短文を作る。 	たとえを用いることで、どんな様子を表しているかを考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・学習プリント
8 9	自分の読みたい本を探して、楽しんで読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・読みたい本を見つけて読む。 ・読書記録をつける。 	進んで読みたい本を探し、楽しんで読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード
10	紹介する本を決め、紹介カードを作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介カードを作成する。 	本の楽しさが伝わるように内容をまとめたり、必要な事柄を選択している。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・作品
11	おもしろかった本を友だちに紹介することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本を紹介する。 ・感想を交流する。 	友だちに本の楽しさが伝わるように紹介している。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表